

# 宇部市成長産業推進協議会 取組報告

令和3年11月11日



# 当協議会の設立

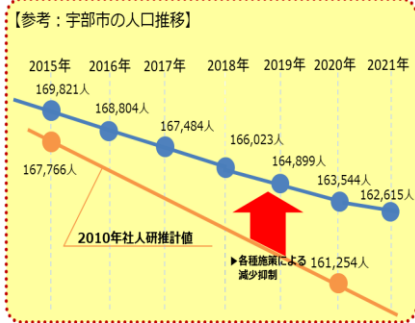
## 取組の背景

### ■ 産業力の強化、魅力的な雇用の場の確保！！

○地域経済と地元産業の発展に加え、次世代産業の創出・育成の推進

### ■ 「しごと」を創出し、「ひと」を集め、「まち」を活性化！！

○産学公金連携による推進  
○本市の有利な地域特性を活かした成長産業の創出と人材育成を推進



## 地域リソース

### 利便性の高いアクセス環境

■山口宇部空港 ■山陽新幹線新山口駅・厚狭駅 ■山陽自動車道宇部IC・国道2号 ■山口宇部道路

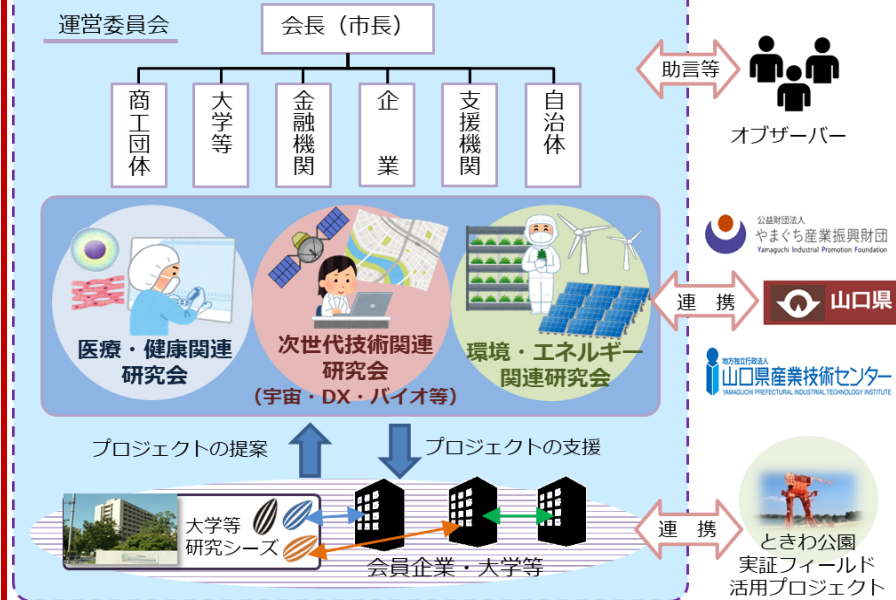
### フルラインナップの教育・研究機関

■山口大学（医学部・工学部） ■宇部フロンティア大学 ■宇部高専 ■山口県産業技術センター  
■JAXA西日本衛星防災利用センター  
■宇部市メディカルクリエイティブセンター

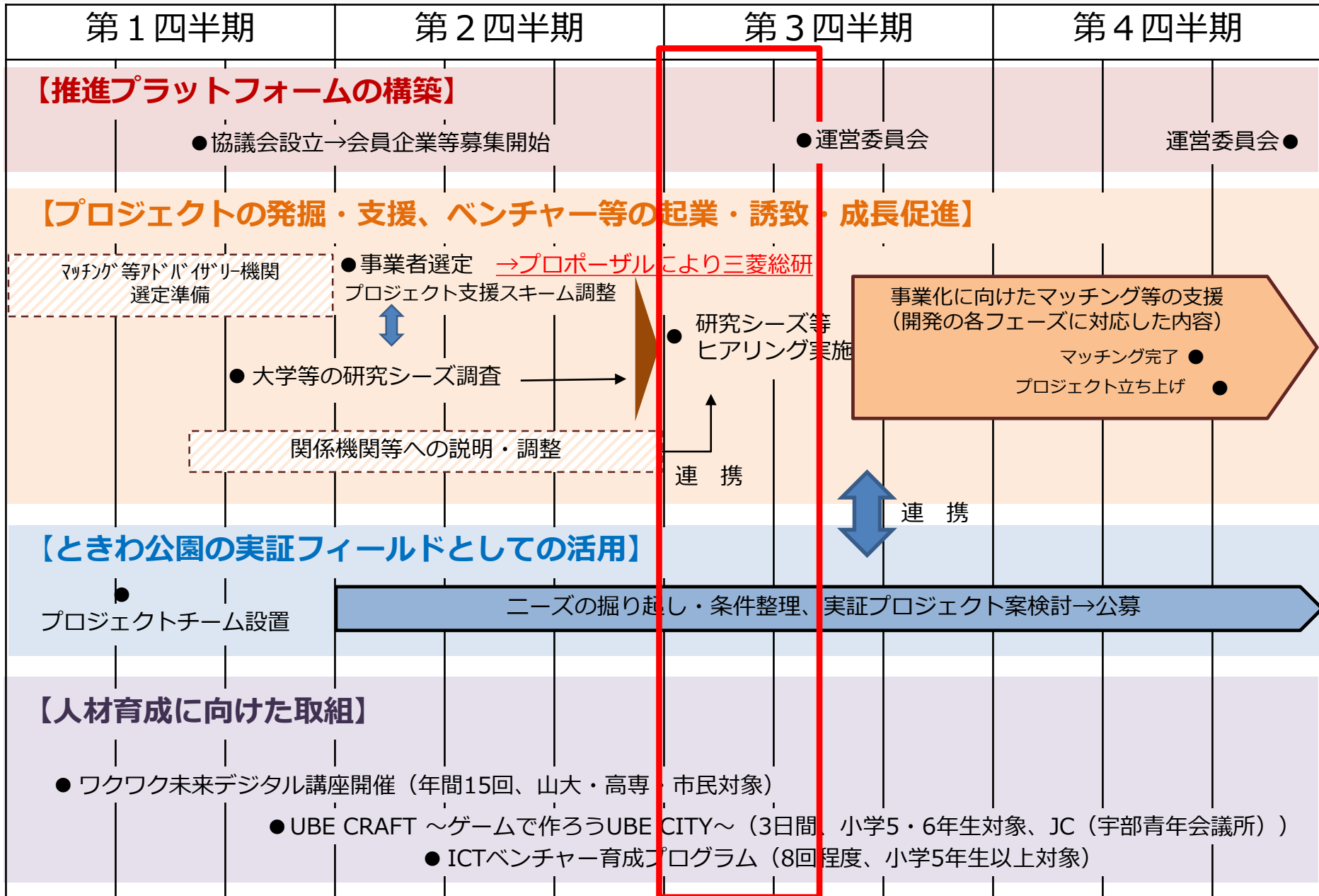


## 推進プラットフォーム

### ● 宇部市成長産業推進協議会 ●



# ■ スケジュール



## 大学等

アドバイザリー機関（三菱総研）の知見・ノウハウ・NWを活用

### 研究シーズの調査等

- 支援対象シーズの抽出
  - 大学等との連携

### 研究シーズのヒアリング

- ヒアリング
  - シーズの概要
  - 研究の進捗状況
  - エビデンス・知財等の状況

### 事業化に向けた支援の検討

- 企業等とのマッチングの実施
- 競争的資金等の申請支援
- ベンチャー等起業支援
  - 事業計画等の策定支援
  - 資金調達・人材戦略策定支援
  - 市場性・競争優位性等の整理

## 企業等

### 事業化テーマの募集

- 会員企業からのプロジェクトの提案

### 事業化テーマのヒアリング

- 事業化の進捗状況
- 共同研究体制・契約等の状況
- 事業化のイメージ・ビジョン
- 課題の抽出

### 事業化・販路拡大等に向けた支援

- 共同研究体制のマッチング
- 補助金等の申請支援
- 大規模展示会等への出展支援
- HP等の広報媒体を通じた情報発信
- 実証フィールドの提供支援

## 調査趣旨

アドバイザー機関（三菱総研）の高度な調査能力や、企業ネットワーク等に係るノウハウを活用して、大学等の研究開発シーズの事業化に向けた支援を推進するため、事業化に向けた具体的な支援を要する研究開発シーズを探索する。

## 調査対象機関等

- 山口大学医学部・工学部
- 宇部工業高等専門学校
- 県産業技術センター

## 実施手法

- 対象機関からの提出
  - 各研究開発シーズの研究者等に対する個別ヒアリングの実施（事務局、アドバイザー機関、県産業技術センター（イノベーション推進センター）県商工労働部新産業振興課）
- 各種新技術・プロジェクトデータベース（公開DB）の探索実施（アドバイザー機関）

約300の技術シーズ

# ■ 研究開発シーズの整理

## 抽出条件

## 対象技術シーズ

視点	抽出条件	医療・健康	環境・エネ	次世代技術	合計
視点 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5年以内の研究成果であること</li> <li>● 下記の3分野の研究テーマ *キーワード</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療・健康分野： 高齢者、在宅医療、遠隔医療、バイタル、ゲノム等</li> <li>2) 環境・エネ分野： 発電、蓄電、再生エネルギー、バイオマス等</li> <li>3) 次世代技術分野：</li> </ol>	191	90	27	308
視点 II	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会的価値を考慮</li> </ul> <p>仮に実用化された場合に、多くの方が恩恵を被る、産業経済が活性化する、地球環境問題の解決に貢献する、などの視点</p>	73	33	12	118
視点 III	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術優位性、市場性等</li> </ul>	17	10	3	30

# ■ 会員企業による実証の実施

幼児児童生徒等送迎バスの利便性向上に向けた運行状況通知サービスの実証事業

会員企業	(株) ニュージャパンナレッジ
所在地	【本社】 山口市大内御堀3777-2 【宇部開発センター】 宇部市あすとぴあ4丁目2-15 新事業創造支援センター12号
業種	ソフトウェア開発など
実証フィールド	県立宇部総合支援学校

## 【現状】

通学児童生徒の大部分が通学バスを利用。  
バス停までの送迎は保護者が実施。

## 【課題】

天候や事故等による交通状況により、  
運行に遅れが生じる場合がある。

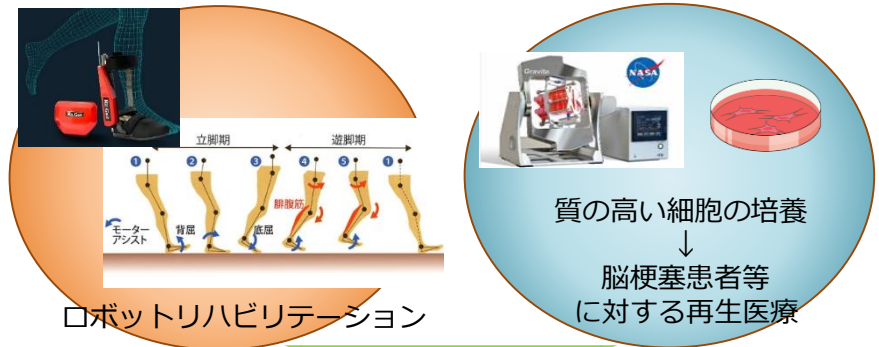


## 通学バス運行状況の見える化

- 保護者や学校関係者からの意見をフィードバック
- 必要な機能の付加やサービス向上に向けた改善
- 他地域の通学バスへの横展開やサービスの多用途展開

再生医療とリハビリの融合に向けた  
ロボットリハビリ実証事業

会員企業	(株) スペース・バイオ・ラボラトリーズ
所在地	【広島オフィス】 広島市南区霞1丁目2-3 霞総合研究棟210号室 【山口サイト】 宇部市あすとぴあ4丁目2-15 新事業創造支援センター5号室
業種	再生医療・バイオ・テクノロジー関連
実証フィールド	宇部西リハビリテーション病院



完治を目指す  
再生医療+ロボットリハビリ





## シンポジウム2021 — 維新の地から挑む革新的医療技術の創出 —

シンポジウム

7 / 16  
宇部

文部科学省の「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択された「革新的コア医療技術に基づく潜在的アンメット・メディカル・ニーズ市場の開拓および創造」に係るシンポジウムにおいて、本協議会の取組を紹介。

### ● 第一部講演

座長 玉田 耕治 山口大学大学院医学系研究科免疫学講座 教授  
真下 知士 東京大学医科学研究所附属実験動物研究施設  
先進動物ゲノム研究分野 教授

#### 『 新規ゲノム編集技術CRISPR-Cas3の開発と応用 』

石川 文彦 理化学研究所生命医科学研究センター  
ヒト疾患モデル研究チーム チームリーダー

#### 『 白血病の多様性の理解と克服に向けて 』

### ● 第二部講演

座長 高見 太郎 山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座 教授  
弓削 類 広島大学大学院医系科学研究科 教授  
宇宙再生医療センター センター長

#### 『 神経再生医療とロボットリハビリテーションの融合 』

押村 光雄 鳥取大学 名誉教授 株式会社 Trans Chromosomics 代表取締役

#### 『 とっとりバイオフロンティアの取り組みーヒト人工染色体と遺伝子/再生医療の融合 』

### ● 第三部 パネルディスカッション

『 維新の地から再生・細胞療法の研究開発を加速させる方策について 』

モデレーター：花村 遼 アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社 パートナー

パネリスト：座長、講演者、山口県商工労働部長、**宇部市長**



参加者：約200名





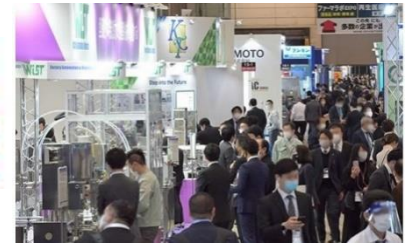


## 再生医療 EXPO へ県との共同出展

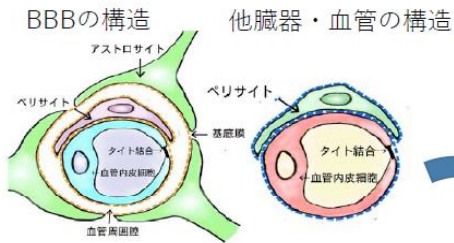
展示会  
12/8~10  
千葉

山口大学の研究シーズを紹介し、当該シーズと関連する、企業の研究開発成果・製品試作品等とともに展示することにより、県と本市の連携した取組としてその訴求力を高める。

再生医療  
EXPO 東京

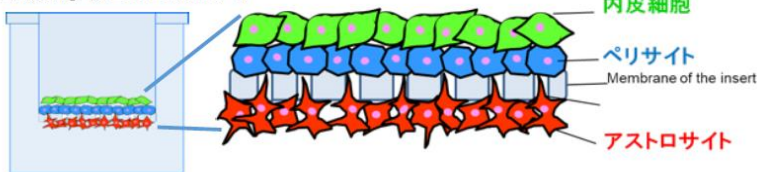


### 血液脳関門モデルキットの開発



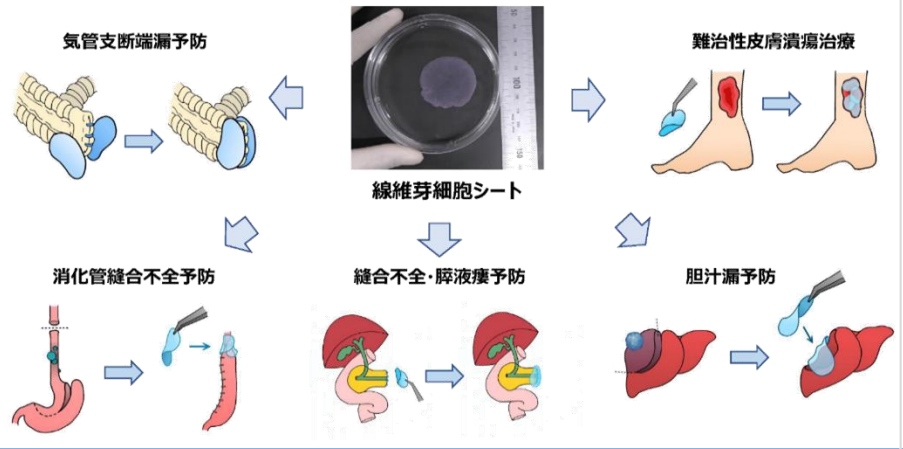
(竹下幸男 神田 隆 Modern Physician 2016; 36:635-638)

#### 理想的なBBBmodel



### 細胞シートによる難治性皮膚潰瘍治療

#### 我々の線維芽細胞シートが対象としている分野



他 肝臓再生療法等、計3テーマを予定

# ■ ときわ公園実証フィールド活用プロジェクト



と き わ 公 園 実 証 フィールド活用プロジェクト を実施しています！

成長産業創出の取組の一環として、ときわ公園を実証フィールドとして活用し、市民課題の解決や新たなビジネスの創出を目指すプロジェクトを実施しています。

「ときわ公園チャレンジ（愛称：ときチャレ）」では、ときわ公園をフィールドに、公園をはじめとした「まち」の課題解決を市民や企業・団体等と一緒に目指します。

5月	<b>プロジェクトチーム設置</b> →所属の垣根を越えた市職員9名で構成
9/25(土)	<b>ときわ公園チャレンジ オープンハッカソン実施</b> →市民、学生、市民活動団体、教育・研究機関、成長産業推進協議会会員等計30名がオンラインで参加。 →プロジェクトチームで検討してきた「次世代技術」「自動運転」「ときわ湖」「資源循環」「キャンプ場」の5テーマと、当日参加者の皆さんからご提案いただいた「広報・PR」の計6テーマについて、アイデアを出し合いました。
11/18(木)	<b>ときわ公園チャレンジ 募集</b> →オープンハッカソンで出たアイデア等をもとに、全国から実証提案や実証事業を募集する予定です。



オープンハッカソンでの様子



## ときわ公園をフィールドとした実証提案・実証事業 募集！

### ■ 募集テーマ

1.  
次世代  
技術

2.  
モビリティ

3.  
常盤湖の  
新たな活用

4.  
資源循環

5.  
キャンプ場

6.  
新たな  
情報発信

7.  
未来に  
向けて  
(自由提案)

### ■ 主な支援内容

- ・ときわ公園等の実証実験フィールドの提供
- ・実証事業の必要経費に対する補助※上限あり
- ・実証事業に係る地元調整
- ・実証モニター等の募集支援
- ・実証事業のPR支援
- ・知財戦略に関する支援
- ・規制緩和の検討

…等、プロジェクトの伴走支援を行います。

### ■ スケジュール

募集開始	令和3年11月18日
一次審査 (書類)	令和4年1月中旬予定
二次審査 (プレゼン)	令和4年2月中旬予定
採択・実証開始	令和4年4月以降





## ■ 施策推進ロゴ (デザインについては作成中)

# U-RINGs

Ube – Regional Innovation for Next Generation

次世代のための地域イノベーション

イメージ：将来に向かい約束を果たす誓いの指輪。輪になって関係者が繋がる・循環するー

## ■ 協議会ウェブサイト (作成中)



技術シーズ・研究者の紹介などをメインにウェブサイトを一新し、ロゴも用いた**戦略的な広報**を実施。